

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

常に変化と成長を続け顧客と社会に革新をもたらす知的創造企業

海外出身人財比率
40%以上新卒定着率
97%顧客維持率
90%DX市場投資額
9兆2,666億円

② 中長期の経営戦略

1. 既存事業の着実な成長

エンタープライズ顧客基盤の拡大とサービス提供力の拡大。マーケティング・営業企画力強化による新規顧客開拓と、既存顧客との取引金額拡大を通じてロイヤルカスタマー数を増加

3. DX人財育成体制の構築

IT未経験から4カ月でプロジェクトアサイン可能な独自育成プログラムを展開。グローバルDX人財育成エコシステムを構築

2. グローバル展開の強化

海外出身人財採用を積極推進し、ヨーロッパ・北米・東南アジアへ進出。顧客の海外事業拡大をグローバルサウスで伴走する体制強化

4. データ・AI領域の強化

データ駆動型プラットフォームにおけるAI・データ解析領域の取組強化。生成AIを前提とした開発で生産性革新を推進

③ 対処すべき課題

① 海外市場への事業拡大

- ・ グローバルサウスを中心とした市場成長への対応
- ・ 2050年に世界人口の2/3がグローバルサウスに居住する予測への備え
- ・ 顧客の海外事業拡大支援体制の強化

② アジャイル開発体制の構築

- ・ 事業環境変化への迅速な適応能力の構築
- ・ 固定的な企業文化からの脱却
- ・ 対等なパートナーシップに基づく小規模反復開発の推進

③ DX推進人材の確保

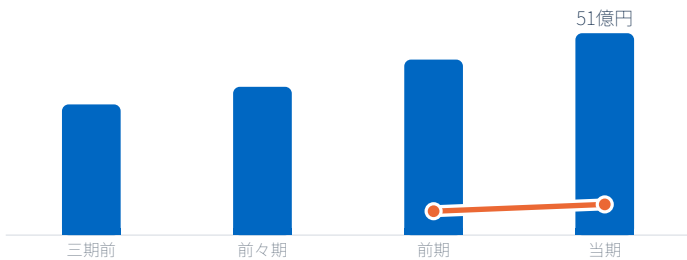
- ・ 2030年に先端IT人材が54.5万人不足の可能性に対応
- ・ 日本企業の83%以上が人材の量、86%以上が質で不足
- ・ システム俯瞰・ビジネス設計・新技術専門人材の育成

面で使えるポイント

- ・ 2030年のDX市場が9兆2,666億円に拡大する環境で、エンタープライズDXパートナーとしての立場の強化を目指す企業
- ・ 海外出身人財比率40%以上を目指し、グローバルサウス中心の海外進出により顧客の成長を支援する企業
- ・ IT未経験から4カ月でプロジェクトアサインできる独自育成プログラムで、グローバルDX人財育成エコシステムの構築に挑戦

証券コード 244A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
51億円営業利益率
15.2%財務健康度
80点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 42.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
491万円

情報・通信業内 558位/592社

平均年齢
39.4歳

情報・通信業内 218位/593社

平均勤続
6.2年

情報・通信業内 307位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

